

『膝が痛くて…』こんな症状ありませんか？

- 立ち上がりの動作で膝が痛い
- 歩きはじめに膝が痛い
- 膝の曲げ伸ばしが痛い
- 階段の上がり、下りが難しい
- なにもしていなくても膝が痛む



上のような症状は関節軟骨がすり減り、関節が変形する変形性膝関節症によって起こることがあります。

変形性膝関節症に対する外科的治療の一つに人工膝関節置換術があります。人工膝関節置換術とは変形した膝関節を人工関節に置き換えて痛みをやわらげる手術のことです。



当院では人工膝関節置換術を年間約100件ほど行なっています。手術後は理学療法士が一人ひとりに合わせたリハビリテーションを行ない、約10日～2週間で退院となります。詳しいリハビリテーションの流れを紹介します。



術後のリハビリテーションの流れ

入院

手術前日

手術前の足の状態を把握するための評価を行ないます。

手術



術後1日目

翌日から立位、歩行練習を開始します。



術後7日目

日常生活に必要な階段昇降等の動作練習を行ないます。



術後10～14日目
退院

パンフレットを用いて一人ひとりに合わせた退院後の生活指導を行なっていきます。

～メッセージ～

「椅子からの立ち上がりが痛い」、「歩きはじめに痛みがでる」
「階段の上がり下りは我慢している」という患者さんの声をよく聞きます。

しかし、手術後には「手術をうけて楽になった」、「もう少し早く手術を受ければよかった」と手術前の痛みが解消されて、動きやすくなったという患者さんの声も多く聞かれます。

人生100年時代といわれるようになりました。健康な身体で長生きできるように自分の足で長く歩いていきましょう。

退院まで理学療法士がサポートします。

倉敷成人病センター

診療支援部 リハビリテーション科